

▼テレミンソフト坐薬 [外]

【重要度】 【一般製剤名】ピサコジル Bisacodyl 【分類】排便機能促進剤

【単位】▼10mg/個

【常用量】1回10mg

【用法】1日1～2回

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】フェニルメタン系化合物の刺激性下剤で、運動促進作用と分泌促進作用をあわせもつ。大腸局所の運動性を高め、便通過時間を短縮し、便の水分量を増加させる。活性体は腸内で生成するピス- (p-ヒドロキシフェニル)-ピリジル-2-メタン (BHPM) である。

【主な副作用・毒性】過敏症、直腸刺激感、腹部不快感、腹痛、肛門部痛、肛門部不快感、一過性の血圧低下など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】直腸内で活性体に変換される (1)

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】361.39

【透析性】

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】慢性便秘症治療のメタ解析によると自然排便の増加度が最も大きい (Nelson AD, et al: Gut 2017 PMID: 27287486)

【備考】市販のコーラックの成分と同じ

【更新日】20240715

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。